



SAIE かわら版

国籍を超え、相互理解を深め、「つながり・きずな」を大切に

SAIE主催
イベント

参加者募集！

国際理解講座 2022

私が過ごしたアメリカ～アメリカ合衆国の文化紹介～



ハンバーガーやハリウッド映画など、今や私たちの生活の中に深く入り込んでいるアメリカ文化。私たちはどこまで知っているのでしょうか？50州からなるアメリカ合衆国はエリアによって特色が大きく異なります。今回はテネシー州出身のスティーブンさんにお話していただきます。知っているようで知らないアメリカ、新しい発見をしませんか？

日程：12月8日(木)午後1時半～3時

場所：摂津市コミュニティプラザ会議室3・4

定員：25名

参加費：無料

申込：協会まで電話・メールで受付



講師
ヘイル スティーブンさん

～講師からのメッセージ～

初めまして、アメリカ合衆国のテネシー州から来たスティーブンと申します。JETプログラムを通して来日し、3年間石川県の輪島市に住んでいました。その後、4年くらい前に大阪に引っ越しし、日本での暮らしは7年以上になります。これまでアメリカと日本の両国において良い関係が築けるよう、言語だけでなく文化や国際交流・理解の活動に従事してきました。趣味は旅行、テーマパーク、映画鑑賞と日本語の勉強です。今回の講座を通して、アメリカについて知らなかったこと等、何か新しい発見にお役に立てることができれば幸いです。より多くの皆さんとお目にかかることができることを楽しみにしています。

Hello, my name is Stephen. I'm from Tennessee in the United States of America. I came to Japan through the JET program and lived in Wajima, Ishikawa for three years. After completing my time on the program, I moved to Osaka about 4 years ago bringing the total time I've lived in Japan a little over seven years. Until now, I've mainly been working by not only teaching language but also culture and coordinating international exchange events and awareness classes, aiming to foster and maintain good relations between the U.S. and Japan. My hobbies include traveling, visiting theme parks, watching movies, and studying Japanese. I hope that you will be able to discover something new about the U.S. from my lecture! I look forward to meeting everyone.

外国語の本が増えました

〈摂津市立図書館からのご案内〉

摂津市民図書館と摂津市立鳥飼図書センターには、外国語を母語とされる方が日本語や日本文化に親しむための本があります。これらの本は摂津ロータリークラブ様から寄贈していただきました。特に摂津市民図書館では2階にコーナーを設け下記のような本を1か所にまとめています。

- やさしい日本語で書かれた本 (図鑑・絵本・コミックなど)
- 各国の言語辞典 (中国語・ハングル・ベトナム語)
- 日本語検定のためのテキスト
- 日本文化や暮らしについての本

また、コーナー以外にも外国語の絵本、洋書、英訳付きガイドブックなどがあります。日本人の方が外国語に触れるきっかけ、多読チャレンジなどにもお役立てください。

(当協会は選書などに携わりました。)



イベント報告

国際理解講座 ～私の国・ルーマニアの文化紹介～

講師：アリンティルタラさん（大阪大学大学院）
開催日：9月1日（木）午後1時半～3時
開催場所：コミュニティプラザ会議室3・4
参加者：30名



- 首都：ブカレスト 人口：約1900万人
言語：ルーマニア語
- ダキア（現ルーマニアに属する地方の呼称）はローマ帝国やオスマン帝国など様々な国の支配下に置かれた歴史があり、多様な民族と文化で構成された。
- 1945～1989 社会主義共和国になりインフラが整備され産業が大きく発展した反面、秘密警察による厳しい言論統制がおこなわれた。1989年ルーマニア革命。
- 2004年NATOに加盟、その後EUに加盟し経済発展を遂げており、2021年には高所得国の仲間入りを果たした。
- ダチア自動車（現ルノー傘下）が有名。

- 特徴ある建築
〈モルドヴァ地方〉北東部
ルーマニア正教会の教会群がある。壁面のフレスコ画は、聖書を題材としており、文字が読めない人々が絵で理解できるよう全面に描かれている。
- 〈トランシルヴァニア地方〉北西部
ドラキュラで有名なブラン城がある。塙で囲まれたような建築物（要塞の役目）が多くドイツ的である。
- 〈ワラキア地方〉南部
イスラム的な少し丸みを持つものがある。宮殿や図書館、銀行など多くの歴史的建造物が残っている。首都ブカレストはオシャレなお店いっぱい。

参加者の感想

- ウクライナの戦争について、日本とは違って隣国なので影響が大きく、今後日本でも考えられることだと思いました。観光の話はドラキュラの話が面白かったです。久しぶりに講座に参加でき、楽しく過ごせました。ありがとうございました。
- ルーマニアの歴史や観光地などを知り、ウクライナ、ロシア、コロナが落ち着いたなら是非訪れたいと思いました。
- 島国日本とは異なったアイデンティティの形成を知り、興味深かったです。
- ルーマニアの文化や歴史について学べて、色々な知識を得ることができました。東ヨーロッパの文化も共通するものが多いことが分かりました。
- 特徴的建築物、ヨーロッパの多民族の影響を感じた。

帰国する前に自分の国について発表ができて、とても光栄でした。参加して下さった皆さんもとても親切でしたし、発表の後に皆さんと会話できて楽しかったです。おかげさまで、日本で留学できてよかったなと思いました。また皆さんとこの世の中のどこかで会えたら嬉しいです。アリン

子ども英語講座



講師：デニス・グラスさん（アメリカ出身）
開催日：隔週金曜日 午後3時30分～6時20分
対象：4歳～小学6年生（3クラス制）
開催場所：コミュニティプラザ

10月から始まりました！楽しく英語を学んでいます。



グアテマラ共和国の凧 JOCA大阪 S・Aさん

日本では凧揚げはお正月が定番、世界各国で凧は大空に揚げられています。そんな凧を11月1日死者の日（お盆のような日です）に揚げるのは、中米グアテマラ共和国です。その日は墓地に多くの人が集まりそこで凧揚げをします。凧は生きた者と死者の魂をつなぎ、死者は凧に乗って家族のもとへ帰るのだそうです。魂の対話のために大空に揚げる大凧です。



●あなたの知っている「世界のちいさなへえ～」をお寄せください。

国際理解講座 ベトナムってどんな国？

講師：グエンティトゥイ チンさん（大阪学院大学商学部）

開催日：9月27日（火）午後1時半～3時

開催場所：コミュニティプラザ会議室3・4

参加者：38名



- 首都：ハノイ（最大の都市：ホーチミン）
人口：約9,784万人 言語：ベトナム語
- 民族衣装はアオザイ。結婚式はもちろん、学生服や会社の制服、普段着として、色々なシーンで愛用されている。
- 国旗の色の意味
（赤＝血、黄色の星＝民族の団結と統一）
- ベトナム語には6つの声調があり、同じ綴りでも意味がまったく変わる

●地域で異なる文化

〈北部〉四季がある（亜熱帯気候）、辛い物が好き、中国文化の影響を受けている

〈中南部〉乾季と雨季（熱帯モンスーン気候）、甘いものが好き、建築物などフランス植民地時代の色が残る

●大卒の給料は4万円/月くらいで、余裕のある生活ができる

●2時間の昼休みは帰って家族で食事をする

参加者の感想

- 少したどたどしい日本語でしたが、話はおもしろかったです。自分の記憶ではアメリカとのベトナム戦争が残っています。独立するまで大変だったのだと改めて知りました。
- 「好きな国」と言われて、うれしい気持ちになります。親切な人でいたいと思います。
- ベトナム人技能実習生や研修生は日本が安全だと思っているので、日本へ行く。
- ベトナムと日本との生活費の差は衝撃的。だが旅行をすると高い。

日本語支援ボランティア養成講座 ～ステップアップ編～

講師：安田乙世さん（日本語教育支援グループことのは副理事長

NPO 法人おおさかこども多文化センター理事）

開催日：10月11日、25日、11月8日（火）午後1時半～3時

開催場所：コミュニティプラザ会議室4

参加者：

●1回目 17名

多様化する学習者への対応を視野に入れ、日本語学習支援をとらえなおそう！

ー最近の支援現場についての情報共有と、実践の振り返りー

●2回目 17名

「やさしい日本語」をとらえなおそう！

ー「対話」と「やさしい日本語」のやさしい関係ー

●3回目 16名

1・2回目の総括 & “日本語学習支援よろず相談会”

ー今後の学習支援活動の“そうぞう”に向けてー



参加者の感想

- コロナになっての変化について詳しくデータに基づいて話してくださった。興味深く感じました。
- 地域の日本語学習支援について、改めて考え直す時間をもつことができ良かったです。日本語学習が単なる学習だけでなく、人との関わり合いであるということをしっかり頭に入れて向き合いたいと思います。
- やさしい日本語への変換する時の注意点、学習者と対話する時どう考えながらするのか、改めて考える機会を得ました。

多様化する学習者へのキーワードは「対話と協働」。傾聴を前提とした対話のキャッチボールによりつくられる関係が学習者にとって日本語運用能力の向上に、支援者にはコミュニケーションスキルを再考して学びを得る機会となることを教えていただきました。また、それぞれ学習者のフィールドに合わせた向き合い方を考えていくことも大事だということを学びました。

日本語学習者がとまどう授受表現（例）

- 「部長にカラオケに連れて行ってもらいました。」
- 「部長にカラオケに連れて行かれました。」

事実は同じ。でも感情的には？

〈協会からのお知らせ〉

協会では各種イベントや語学講座などでの事故に備え、団体傷害保険に加入しています。参加途上も含め、もし事故に遭われましたら協会事務局までご連絡ください。

これからの交流

NPO法人せつブルーウィングス会長 杉浦 徹 (団体会員・個人会員)

私は中国の蚌阜市、オーストラリアのバンダバーグ市とも6回訪問しましたが、それぞれに温かい歓迎を受け、有意義な交流ができたことは良い思い出として最後の交流から10年以上経過した今でも鮮明に思い出すことができます。

蚌阜市との交流では、案内された万里の長城、太湖、山峡などの観光地や歓迎会の様子なども思い出されますが、特に卓球の交流を目的に市内の中学生と体育協会の役員と共に訪問した時、蚌阜チームの卓球の強さとその卓球会場の2階にずらりと並んだピアノが置かれた個室で小さな子供1人に1人の指導者がついてピアノを教えていたこと、また交流の場では子供たちがお互いの国の言葉は通じなくても英単語を並べて話し合い、盛り上がっていたことには驚かされました。

バンダバーグ市との交流では、向かう電車の中から見える景色が草原、林、馬、牛ばかりで、家や人影は途中数回停車する駅の周辺だけでしか見られないという雄大な広さをまず実感しました。さすがにバンダバーグ駅に着くと町らしさはありませんでしたが、道路は広く、通行量も少なく、踏切の一旦停止もなく、歩行者信号はどの交差



点でも押さないと変わらないし、大きな建物は目に入らず、人の動きもゆっくりで全体としてゆったりとした空気を感じました。歓迎会では食べたい人は食べ、飲みたい人は飲んで自由にこの場を楽しんでくださいという中国や日本とは違った雰囲気、せっかく英語のあいさつも練習して来たのにと少し残念でしたが、片言の英語と身振りを交えて会話ができて気楽に楽しむことができました。

交流では、数回の訪問でテニス、卓球、サッカー、ゴルフなどを行いました。特に中学生のサッカー交流を行った時には、ソロモン諸島のチームも加えた7チームで試合をして5勝1分けで圧勝して、バンダバーグの監督が摂津チームの連携プレーを絶賛し、新聞でも大きく取り上げられたことが強く印象に残っています。交流はお互いの市を紹介して理解しあい、いろいろな体験しながら友好を深めることが目的で大切なことだと思います。特にスポーツは、世界的にルールが同じなのですぐにでも交流ができ、お互いの技量を確認してそれを話題にしながらその場を盛り上げることができます。これからの交流は、行政間の形式的な交流や参加者の観光目的ではなく、市民同士が文化、スポーツを通じて交流を深め、人と人との心のふれあいを重視した事業を推進すべきではないかと思えます。難しいことではありますが、交流を進める中でできれば蚌阜市、バンダバーグ市、摂津市のチームが一堂に会して1種目、2種目でも本気で競えるミニオリンピックと銘打っての交流ができればと思っています。



Message



初めまして！SAIEかわら版のデザインを担当している佐藤未奈と申します。私は京都でグラフィックデザイナー/イラストレーターとして活動しています。2019年までアラブ首長国連邦のドバイで10年間生活し、客室乗務員として航空会社に勤務していました。小さい頃から絵を描くことが好きで、いつか大学で本格的に芸術を学んでみたいとずっと夢見ていました。芸大進学を目指し、35歳で退職し帰国。京都の大学でデザインを学び、37歳で遅咲きデザイナーになりました。現在は夫の故郷であるフィリピンをテーマにしたイラストグッズや、子ども向けの絵本も制作しています。SAIEかわら版の編集を始めて1年ほど経ちますが、毎回デザインにうんうんと悩みながらも、楽しく編集しています。皆様にも楽しんで読んで頂けると嬉しいです。今後ともよろしくお願いたします！

摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘 5-35

摂津市立コミュニティプラザ 2F

TEL : 06-6319-6251 FAX : 06-6318-6004

Email : office@settsu-saie.org

URL : <http://settsu-saie.org>

開室時刻 : 平日 9:30~12:00、13:00~16:30
(休館 : 第4水曜日)

会員募集

●年会費 : 個人 : 3,000 円 / 家族 : 5,000 円

青少年 : 1,000 円 / 法人・団体 : 10,000 円 (1口)

●当協会の事業に無料または割引での参加特典がございます。

●「かわら版」のお届けと催事参加申込みなども優先的に受け付けます。



LINE 公式アカウント

アカウント名 :
摂津市国際交流協会
ID : @462xxegy